

若いちから

題字:第57代理事長 小泉 富裕



去年、公益社団法人として法人格を移行し、公益社団法人北見青年会議所として元年を迎えた。当会議所にとって節目を迎えた年でありました。公益社団法人二年目を迎える本年、この地域から更に求められる組織の確立を目指し、これまで先輩諸氏の皆様が六〇年を越えて継承してきた歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、この地域の輝く未来へ向けて活動、運動に邁進しているところであります。先輩諸氏の皆様には日頃より当会議所の活動、運動に対しましてご指導と多大なるご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年の五月の臨時総会、理事会におきまして公益社団法人北見青年会議所第五十七代理事長としてご承認を頂いてから約一年が経ちます。これまで理事長という大役をなんとか全うできているのは、先輩諸氏の皆様のご協力とメンバーの皆様の日々のご尽力のお陰であります。残りも半年となりましたが、メンバー全員で「我われの行動の先にある」輝く未来へ向けて力強く歩んでいくことをお誓い申し上げます。

本年度の五月臨時総会、理事会におきまして、二〇一五年度公益社団法人北見青年会議所の理事長予定者をはじめ、副理事長、専務理事、事務局長予定者がメンバーの皆様にご承認されました。先輩諸氏の皆様、メンバーの皆様には、第五十八代理事長予定者の帰山哲雄君、副理事長予定者の太田憲輔君、多田健太郎君、山本英和君、専務理事予定者の川人正和君、事務局長予定者の佐藤尊人君の四役予定者へのご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

二〇一四年度も六月を迎え残り半年となりましたが、これから多くの他団体、地域住民とのつながりからなる公益事業を控えています。青少年を対象とした「青少年育成事業」、第六回となる「北見ばんちまつり」そして、本年第六回となる「北見ハーフマラソン大会」であります。これら一つひとつ運動がこの地域を変えられると信じ、他団体や地域住民と共に考え、共に汗を流し、共に達成感を感じながらメンバー全員で「明るい豊かな社会」の実現を目指し、運動展開してまいりますので先輩諸氏の皆様の更なるご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。



ご挨拶
第五十七代理事長
小泉 富裕

皆の一歩が30名の拡大に 小泉富裕

本年4月第2例会を通じて、現役メンバー一人ひとりが現在のLOMを把握し、今後数年間の卒業予定者数や会員減少に伴う予算減少や事業縮小などを再認識することで、危機感と当事者意識を持つ事が出来ました。本例会では公益社団法人日本青年会議所 小畠宏介直前会頭に講和を頂き、公益社団法人日本青年会議所の会頭を歴任された経験から、会員拡大に成功した多くのLOMの成功例や、実際の体験談を踏まえ一人ひとりがJC運動に対し自信を持ってしっかりと行う事が会員拡大には重要だとお話をいただいたことで、志を同じくする仲間を増やす会員拡大への意識高揚することが出来ました。本年理事長の掲げた30名拡大に向け邁進致します。

会員拡大プロジェクト

7月第1例会のお知らせ

担当 総務広報・会員拡大委員会

OB例会 築き積み重ねてきた軌跡 ~輝く未来のために~

とき 2014年7月7日(月) 19:00~21:00(受付18:30~)

ところ ホテル黒部 2F富士

北見市北7条西1丁目 TEL.0157-23-2251

本例会はOB会員の皆さんと現役メンバーを同席にいたしました。同じ趣味を通じた席順にし、OB会員の皆さんとの交流や絆をさらに深めさせていただく例会となっております。

活動報告をブログ公開しています!!

2014年度 北見JC公式HP

<http://kitamijc.or.jp/>

2014年度 北見JC活動報告 ブログ

<http://kitamijc11.blog96.fc2.com/>

2014年度 北見JC活動報告 Face book

<https://www.facebook.com/kitamijc>

第6回 北見ハーフマラソン Face book

<https://www.facebook.com/kitamihalfmarathon>



【対談】「輝く未来」愛する北見のために Vol.2

行政と青年会議所の連携

公益社団法人北見青年会議所が創立して六十二年目、そして社団法人から公益社団法人として法人格を移行し二年目。

「輝く未来のために」北見市長 櫻田真人氏と、公益社団法人北見青年会議所第五十七代理事長小泉富裕君に、北見で活躍する団体の代表として、お互いに協力できることや、なすべきことについて語り合っていただきました。



北見市長
櫻田真人



公益社団法人北見青年会議所
第57代理事長

■略歴：社団法人 北見青年会議所 副理事長、学校法人 北見さくら幼稚園園長在籍中

平成18年 北見市議会議員当選(以降2期)

平成18年 北見市議会議員当選(以降2期)
平成24年 北見市長就任(現在1期目)

櫻田市長(以下S) 行政が青年会議所に求めるもの」ということですが、私たち行政は、JCの皆さんにものすごく期待しているということを、まずお話をしたいと思います。

先に結論を言うのであれば是非、JCの皆さんには五〇年、「〇〇年じゃなく、五〇年、一〇〇年先を見て、そしてこの地域をどうしていくんだという発想をどんどん発言をしていっていただきたいということです。実は、行政はそのような長い視点で考えるのは中々難しく、言い換えると行政は夢を語るのが苦手だと思います。

これから北見はさらにさまざまな計画造りをしていかなければならぬので、是非JCの皆さんにはそこに参加・参画していただき、そしてどんどん意見をいただきたいと思います。同時にそれ以上先の夢をJCの皆さんにどんどん発言していただき、それを実現するためには何ができるんだということを私たちにぶつけていただきたいし、そしてJCの皆さんも、それではJCは何ができるんだということを考えてもらいたい。今まで市民会議の開催や市民アンケート、地区協働の取組をしていただいたら、最近のJCはすごいなど市民の皆様も思つていらっしゃると思います。私自身もJCのメンバーとして在籍していましたが、私が卒業してから1番すごいなと思ったのは、北見ハーフマラソン大会で、これはものすごい事業をJCは成しとげたなど。過去にもいろいろあります、スケート大会や植樹祭、そう数えるとほんちまつりだつて今でこそ商工会議所実行委員会が主催ですが、市民の夕べのための資金調達を行うところから当時のJCが行い、私

三橋委員長(以下M)：今回のテーマは「行政と青年会議所の連携」、サブテーマは「行政が青年会議所に求めるもの」、「青年会議所が行政に求めるもの」、また市長のマニュフェストにもありました「四行政区間の交流・連携・未来」という形で行いたいと思います。今年度の北見青年会議所全体のテーマである会員拡大、四行政区対抗の大綱引き大会構想、北見ハーフマラソン大会の参加やボランティア募集、自然にあふれたオホーツクでの教育事業などの企画立案や事業実施にあたり是非参考とさせていただきたく、今日はいろいろお話を伺いたいと思いますので宜しくお願い致します。まずは、「行政が青年会議所に求めるもの」についてお願ひします。

からすると先輩たちで、その先輩たちももう大先輩になつていて、それを代々受けついできたのが北見青年会議所なんだと自負していますね。これから少子高齢化や人口減少つていうものが間違いなく訪れ、その時に元気な高齢者の皆さんのがこのまちをもっと住みやすくなり私たちの故郷を託そうつて思つてもらえるためには、やっぱりJCの皆さんに期待しているし、私も期待しています。そして、JCの皆さんには今まで北見のまちづくりに貢献していただきたいことに、私は感謝から始まるんだけど、これからJCの皆さんでしか出来ないことがあると思います。明治維新じゃないけど、それらの行動は全て二〇代、三〇代の人たちなんだよね。二〇代、三〇代の人たちが、五歳、一〇歳くらい上の先輩たちの後ろ姿を見て、自分たちもこうなりたいなとか、きっとJCに参加した会員の皆さんはそういうのではないでしょうか？そしてその立場になつた時に、さまざまなもの役職を任命され一年という限られた期間をこなすことによつて、間違いなくJCとしての器は大きくなつていくんだと思ひます。昨日まで全道市長会の春の定例会があつて、全道の市長三十五名中、JC出身のOBが十六名もいて、苫小牧の岩倉さんなんて私がJC在籍時に日本の副会頭を務めた経験があるものすごい影響力のあつた人ですよね。要するにその時、苫小牧の岩倉さんももちろん私も現役JCの皆さんも、自分たちより五歳、一〇歳上の先輩たちの後ろ姿を見て、あんな風に頑張れたらいいなっていう目標がきっとあつて、そこに向かつてやり続けるんだと思います。

S：とても今の私はなかつたと思いますよ。自分の商売や家庭さえうまくいけばそれで良いじゃなくて、自分の商売や家庭も大切だけど、自分たちのまちが、周りの人たちが良くなつていく、要するに他人、他社が良くなつていくつていうことは最終的には回り巡つて自分たちの生活を豊かにするんだという強い信念があるからできるんじやないのかな。

思ひ出しました。その中で今年一〇年目を迎えたには「本当にこの人はすごいなと思う先輩が多くて、何故このまちのためにこれだけの時間を費やして、仕事以外のことどこまでやれるんだろう?」と最初は思っていましたでもこうやつて永年やつてると他のメンバーと一緒に創りあげるという楽しががありますし、このまちが少しでも盛り上がりつて誰かがやらないとこれは成り立たないんだということが少しずつ分かってきました。市との関わりという部分は、私も市民会議に参加させていただき、いろいろ形で市のお世話になり協働や協力をしながら、先輩たちもやつてこられたと思います。

今年度、北見JCは六十五名でスタートし、一番多い時代の一三一名から比較すると約半分の人数になります。私たちが思い描いてる事業を行おうとする決して十分な人数ではありません。人数が減ると予算も限られ、先輩たちから受け継いだ事業を継続していくのは時に困難を極めます。その中で、今年は第六十一回ほんちまつり、第六回北見ハーフマラソン大会、教育事業をメイン事業として、市民の皆さんに少しでも喜んでいただけの事業として参加、参画しております。過去には北見ハーフマラソン大会で補助金をいただきながら行つたという経緯もあり、市や他団体と関わる部分を更に強化し連携していくたいという思いはあります。今までも、他の団体との協働状だと思い、そこを強化しながらこれからJC活動運動を活発にしていきたいと思います。

市のご協力も今まで以上にお願いしたい部分もあるので、その際には是非ともご協力いただきたいといふお願いでございます。

S: それぞれ担当の事業で、こんな事業を今年行いますとか、次年度はこんな事業を行いますとか、是非、情報交換も密にしていきたいと思っています。行政としても協力していける部分もあるかも知れないし、いろいろなイベントの実行委員会のオブザーバーで参加し、例えば職員も一緒に行動させてもらおうとかってことは、もしかしたらこれからは考えられるかもしれないよね。事業の内容によつては行政も一緒にやつていきましたようという中で、財政的な支援もできることがありますから。過去には、まちづくりパワー支援事業や北海道の予算支援制度を活用したり、さまざまなことはきつと考え方られるし、そういう所から一緒にやつていこうって思えるのかもしれない。ここの中には皆さんそうやって少しずつ変わってきてるんだなと思います。

R「そうですね今まで市には関わっていたたいていいるんですが、それからもう一步踏み込んで関わっていただくということは可能かもしれませんね」とおっしゃいますね。

S「そうそう、間違いなく可能だし、市もきっと求めていますね。

R「更なる連携やご協力をお願ひします。

M「では次に、「四自治区間の交流・連携・未来」についてお願ひします。

R「一つの事業を創りあげていくという部分では、北見市開基一〇〇周年の話を聞くと、大きい事業と一緒に創りあげるとそこから一体感が生まれてくると思います。

S「あの時は、ミッキーマウスを招致するなどいろいろなことがありました。直近で言つたら、北見市は合併して八年経ち、二年後に合併一〇周年を迎えるんだよね。合併一〇周年というのは行政的にみると、一本算定と言つて国からの交付金が今までより減つていくんんですよ。それに対しての準備がどこまで出来ているか、というのが非常にシビアな問題です。でも同時に、合併一〇周年を北見市として一体感をしつかり持ち行うためには四自治区が協力しながら行わなければならぬのです。例えば、常呂のカーリング場は今までのカーリングの歴史や聖地という思いを考え、常呂に作りましたが、これから北見市全体で、このホテルをどう生かしていくかということを考えるべきだと思う。温根湯の山の水族館も合併を期にリニューアルしましたが、温根湯のまちの活性化、再開発に大いにつながっています。このように合併を契機にさまざまな施設が整備されたことで、留辺蘂、端野、常呂の皆さんも北見市民としての一体感を感じていたただいているのではないでしょうか。先ほど理事長の話していた「四自治区対抗大綱引き大会」も実現できるといいですね。

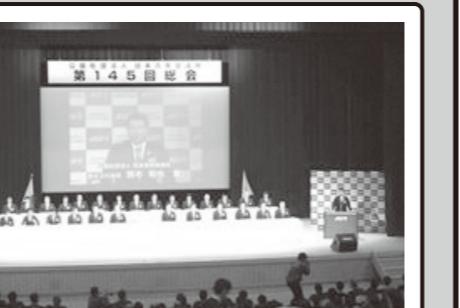
PHOTO GALLERY



2月9日／2月第1例会「今こそ学ぼう北方領土!～意気溢れる行動をするために～」



2月22日／2月第2例会「北見ハーフマラソン大会を考える～地域協働の発展継続のために～」



月8日／復興創造フォーラム（福島県）



3月15日／オホーツク北見学生連合「第1回オホーツク学生連合会議」



3月19日／第2回北見ハーフマラソン実行委員会



月20日／3月例会「活かそう造ろう成長の
機会！」



4月3日／4月第1例会「過去から現在（いま）そして未来を考える～地域を担う人財（ひと）づくりのために～」



4月13日／第3回会員会議所会議(函館)



月17日／4月第2例会「今そこにある危機!～会員拡大への意識改革～」



4月18日／巾長表敏訪問



4月23日／緑の募金



月2日／国民による未来創造プロジェクト
「この国のあるべき姿を描こう」



5月10日／じゃがゴルフコンペ



5月18日／5月例会「第3回 JCフォーラム」 (札幌)



月18日／第73回市民植樹祭

難しいという返答をいただきました。私たちが、三自治区で行つておるお祭りに足を運びお願いをしないと、相手も理解してくれない部分もあるのではないかと。取り組みの中で、ほんちまつりの大綱引きも多いとは言えないが、少しずつ三自治区からも出場していただいています。私も先日、温根湯つつじロードレースを走つてきました。死ぬかと思いましたが、北見ハーフマラソン大会にご協力をいただいていたので、そこは何とか完走しました。そういうお互いの行き来をしながら、少しづつ絆を深めていき、三自治区からメンバーを入れたいんですが、そういうところから広がつてくれるつてあるんですね。

S：今はいないの？

M：現在、北見JCは常呂町、留辺蘿町はゼロ、端野町から三名です。帯広JCを例に挙げると、全六十六名中、近隣自治区から車で一時間圏内のメンバーが十九名、全体の三割弱が近隣自治区から在籍しております。

R：一人でも近隣自治区から入るとそこから広がる場面があるし、実際に出身者はいるんです。

自治区的にも、自分の自治区を盛り上げたいという思いの中、良い意味でJCを利用できる場面もあると思うんですよ。市長がおっしゃった三〇代の若者が先頭に立つて動くんだったら、近隣自治区からの参加者が自分たちの地域を盛り上げる代表になつてくるのかなと思うし、青年会議所としても頭数が大事だなと思います。

S：やはり、頭数がいればいるほど事業も大きくなるし、まちづくりに対しても可能性は大きくなるよね。

R：そうすると、やはり北見JCは少ないですね。帯広JCは近隣自治区からの参加者が多くて、僕らの努力不足は否めませんが。

S：今は留辺蘿JCが無くなつたでしょう。当時僕たちの頃はあつたから。

R：無くなつたLOMのメンバーが、北見JCに入つてもらう流れが出来ていれば良かつたし、入ることがあつて当然だと思うんです。でも現状ではゼロということ、会員拡大に力を注ぎ、伝手を利用しながら勧誘に行こうと思います。

新しい北見の中でも求めないといけないと思つています。ですが、私はそのきっかけが観光だと思つています。観光で言えば広域で一番取り組みやすいし、温根湯の道の駅に観光案内所を作つたのも、北見もしくはオホーツクエリア全体に人が滞在する時間を長くするためには設置した案内所という狙いもあります。そうして、もっと一体感が生まれてくると、黙つても他の自治区からもJCに入つてくるし、逆に、そのことを進めていけるのもJCかもしれない。

R・JCが一体感を創つていくことも、一つのきっかけになるかもしれない。やはり難しいところがあつて、簡単によし北見に行つて来いという現実になつていないですよね。

S・そのためにも今の都市再生の事業、合併特例債の活用期限までにしっかりと完結させる、そこで初めて市内全体のさまざまな計画が一巡し、成し遂げてから、そして次の計画を作ることが大切です。始めの話にもあつたけど、行政が作るのは五年、一〇年先の計画。JCの皆さんは、もつと先の五〇年、一〇〇年先にどうなつていきたいことを、自分たちだけで行うのではなく、行政に対してどんどん意見を発して、その時には北見だけじゃなくオホーツクエリア全体を見据えるくらいの広い視野で北見JCは言わなきやいけない。それが北見JCだと思うし、それが出来たときにまさしく「オールオホーツク」と言うのがかな。

R・北見JCとして、北見だけではなくオホーツク全体を担うぐらいの勢いで取り組むつてことですね。北海道JCで言つても、道東エリアというのは本当に元気のあるエリアとして捉えられていまして、良いか悪いかは別問題として、公益法人格を取得しているのは全道48LOMの内、北見JCだけなんですよね。

S・全国的にはどうですか。

S：公益社団法人北見青年会議所が公益法人格として一層活躍していく上で私たち行政とJCの皆さんに連携していくことが重要ですね。そして、JCは四〇歳になると卒業してしまいますが、それでお終いではなく卒業してからこそが始まりじゃないかな。そして、JCの財産はなんといってもそこでの人脈ですよね。北見だけじゃなく、全道に行つてもいろいろな人が可愛がってくれるし。

R：JCの人脈というのは今になつていろいろ気づかされる部分もあるんですけど、先輩の皆様が築き上げた六十二年間という歴史ある北見JCなので、北見JCと言うだけでも可愛がつていただける部分もあります。

R：そうですね。

S：その時に今までやつてきたことが生かされるんだし、それが最終的には回りまわって自分の家族を幸せにすることにもなるし、自分の会社を豊かにすることにもなるし、それが常に時代なんだと思うな。

R：そうですね。

S：合併して八年経ち、北見はいろいろな課題があつたけど、高度医療拠点の北見赤十字病院が完成しました。その他にも、図書館、温水プールなどの都市機能もさらに充実します。若い人たちを含めて、この地域に魅力を感じてもらうためには、必要な投資は今じやないと出来ない。それをしつかりやつていくことによって若い人たちが自分のまちに誇りを持ち、そしてまた北見に帰つてこようと思い、親父の後ろ姿を見て、「よし俺も北見で生活しよう」と皆様も決心して頂いたのだと思います。まさに世代の連続、命の連續がここ北見にはしっかりとあります。

R：やはり、そのためには四自治区間はもとより、オホーツク全体との交流や連携をさらに強化しなければいけませんね。

S：北見JCの皆さんに期待しています、頑張って下さい。

R：はい、今日はお忙しい中、本当にありがとうござ

アカデミー委員会メンバー紹介 Vol.2

きうち
木内 寿樹

この度4月25日の承認を受けJCに入会致しました木内寿樹と申します。私は高校卒業後、27歳までサラリーマンとして働いており現在、飲食店を経営して4年経とうとしてあります。経営者として日も浅く思い悩んでいた時に現役会員の方からお説明を受けJCに入会する事になりました。このJC入会をきっかけに様々な活動を積極的に参加し現役会員の方、OB会員の方々から指導して頂いたことを糧に仕事に活かして行きたいと思っております。

【勤務先】(有)フローレス・役員

やまぐち
山口 冬樹

この度、北見青年会議所に入会させて頂きました山口冬樹と申します。OFFICE CELEBという派遣・飲食業を阿寒湖鶴雅グループにてやっております。JC入会しようと思ったきっかけが職業柄ですが各地域の観光のお客様を見て道東の活性化、北見市の活性化の為に何か役に立てる事が出来るんじやないかと思いました。まだまだ未熟者ですがJC活動を通じて自分自身の成長と地域社会への貢献を出来る様に精一杯努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

【勤務先】OFFICE CELEB・代表

みなと
湊 雄祐

この度、公益社団法人北見青年会議所に入会いたしました、株式会社北方広放社の湊雄祐と申します。入会して半年が経過いたしましたが、多くの気づきと学びを経験させていただいております。また、素晴らしいJCメンバーに出会えたことに大変感謝しております。今後、北見市の発展のため少しでも力になれるよう、JC活動に積極的に参加し自分のスキルアップのため努力して参ります。まだまだ、未熟者ですが今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【勤務先】(株)北方広放社

もり
森 大悟

この度、公益社団法人北見青年会議所に入会させていただきました、第一防災株式会社の森大悟と申します。JC活動を通じて、多くの先輩、アカデミームバーから沢山の事を学ばせていただき、少しでも北見市の発展に貢献できるように一生懸命頑張りたいと思います。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思ますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

【勤務先】第一防災株式会社・係員

初の例会に向け
て頑張って
います!!

2015年度
理事長予定者

帰山 哲雄

【経歴】

生年月日 1976年7月23日(38歳)
勤務先 帰山工業株式会社
役 職 常務取締役

日頃から公益社団法人北見青年会議所の運動に対し、先輩の皆様や関係諸団体の皆様から多大なるご理解とご支援、ご協力を賜っておりますことを深く感謝と御礼申し上げます。

去る5月13日に開催されました臨時総会、並びに臨時理事会におきまして、2015年度公益社団法人北見青年会議所、第五十八代理事長として会員の皆様にご承認を賜りましたことに対し深く感謝と御礼を申し上げます。私は2002年度に入会させて頂き、先輩の皆様方から様々なことをご指導頂きながら運動を展開し、本年で12年目を迎えることが出来ました。この経験を最大限に活かし理事長という大役に全力で取り組み、会員の皆様と一緒にして公益社団法人北見青年会議所として運動を展開し、この地域に貢献していくことをお誓い申し上げます。

先輩の皆様や関係諸団体の皆様そして会員の皆様には、今後も変わらぬご指導とご鞭撻、そしてご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

【JC歴】

2002年 アカデミー委員会	2011年 教育創造委員会 委員長
2003年 道東ブロック協議会アカデミー研修塾 幹事	2012年 60周年Anniversary委員会 副委員長
2008年 地域交流委員会 副委員長	2013年 地域協働担当 副理事長
2009年 教育事業創造委員会 副委員長	2014年 監事、2014年度北海道地区協議会主権国家確立委員会 委員長

2015年度 理事予定者 あいさつ

2015年度
専務理事予定者

川人 正和

この度、5月13日に開催されました総会及び理事会にて専務理事という大役を仰せつかりました川人正和と申します。30歳という年齢ではありますが、2011年度に事務局長を経験させていただき、今回で二回目の四役となります。まだまだ勉強不足な部分が多くあることかと存じますが、皆様にご指導ご鞭撻をいただきながら、(公社)北見青年会議所の名を汚さぬよう、帰山次年度理事長予定者をはじめLOMを支えながらしっかりと運営を図って参りますので一年間どうぞよろしくお願い致します。

2015年度
副理事長予定者

太田 憲輔

5月の臨時総会におきまして2015年度(公社)北見青年会議所の副理事長としてメンバーの皆様よりご承認賜りました事、そしてこのような機会をえて下さった帰山次年度理事長に心より御礼申し上げます。2,013年度に続き2度目の副理事長拝命となります。前回の経験を基に帰山次年度理事長を支え、より一層、LOMの発展に寄与していくたいと思います。メンバーの皆様そして先輩諸氏の皆様にはお世話になる場面が多くあると思いますが、ご指導ご協力の程お願い申し上げます。

2015年度
副理事長予定者

山本 英和

5月の臨時総会にて2015年度公益社団法人北見青年会議所 副理事長としてご承認いただきました。未私にこのような成長の機会をえて頂きました帰山次年度理事長予定者、そして温かい拍手をもってご承認頂きましたメンバーの皆様に心から感謝申し上げます。2010年に青年会議所の門を叩き、まだまだ短い経験での副理事長と言う重責に大きな不安はありますが、今まで多くの先輩に教わってきた事を思い出し、帰山次年度理事長予定者が掲げた方針、想い描く未来の創造に向かって全メンバーが力強く歩んで行けるよう、我われに寄せられる地域の期待に応える事ができるよう、微力ではありますが力を尽くして行く所存です。

2015年度
副理事長予定者

多田 健太郎

2015年度(公社)北見青年会議所の副理事長としてご承認賜りましたこと、心より御礼申し上げます。責任の重さを痛感し身の引き締まる思いです。来年入会4年目とメンバーとしての経験も浅い未熟者ですが、帰山次年度理事長予定者の想いを支え、LOMと地域の発展に貢献すべく力を尽くしてまいります。先輩諸氏、メンバーの皆様には大変お世話になりますが、何卒ご指導とご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

2015年度
事務局長予定者

佐藤 尊人

5月の臨時総会・臨時理事会にて2015年度(公社)北見青年会議所事務局長としてご承認いただきました。まだまだ私のような未熟者に学びの機会、成長の機会をえていたいたる帰山理事長予定者、そしてメンバー皆様にご承認賜りましたことを心よりお礼申し上げます。私は2011年に北見青年会議所に入会させていただき、先輩諸氏が積み重ねてきた北見青年会議所の伝統をこれからも学び、北見青年会議所事務局長としてメンバー一人ひとりが活動、運動しやすい環境を作りたい所存です。1年間宜しくお願い致します。